

我が子をこの学校で学ばせたい

「子どもが喜んで登校してくる学校、地域に信頼される学校」づくり

学校教育目標

**夢に向かって、共にたくましく生きる児童の育成****共に**

## 【支え合い高め合う集団】

- 人権を基盤とした学級経営
- ・人権感覚（仲間を尊敬し、態度）
- ・自尊感情（存在感や成就感・達成感・自己有用感を感じる学級風土）
- ・仲間意識（共に生き、共に歩もうとする意識）
- 生徒指導をはじめ、あらゆる活動を通して
- ・互いに協力し合い、共に高まろうとする意識
- ・規範意識の育成（人と人とのつながりを大切にし、ルールや法の重要性を自覚できる）

**夢に向かって**

## 【「確かな学力」の保障】

- 学ぼうとする意欲・学ぶ目的意識・学び続ける力
- ・学習ルールの徹底
- 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用
- 言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力の育成
- ICT機器等を効果的に活用し、情報活用能力を高める。
- 伝統と文化を受け継ぎ、地域の人材や資産の活用

**たくましく**

## 【命を守り、育む】

- 子どもの命を守る教職員体制と子ども自身が命を大切にできる学校教育の実践
- 「豊かな心」の育成
- ・自尊感情を高め、互いを尊重し認め合う力
- 「健やかな体」の育成
- ・毎日を明るく生き生きと生活できる力

**生きる力**

## めざす子ども像＝「ふかくさ」の子

ふれあい 心うごかす子	からだも心も げんきな子	くふうし かんがえる子	ささえあい はげましあう子
◇友だちの努力や成果を自分のことのように喜、心からの拍手を送ることができる。 ◇見たものや聞いたことに対して、素直に感動することができる。	◇自分が周りの人たちから大切にされていると感ずることができる。 ◇自分のよいところをたくさん見つけ、それを他のために生かそうとすることができる。	◇決められた学習だけでなく、自主学習にも積極的に取り組むことができる。 ◇興味を持ったことや疑問に思ったことを追究するために、計画を立てて実行することができる。	◇友だちと一緒にやり遂げる楽しさを味わうことができる。 ◇友だちの心の痛みを自分の痛みとして感ずることができる。 ◇友だちの困りを解決するために共に行動することができる。

## めざす学校像

- ◇ 一人ひとりが生き生きとかがやく学校
- ◇ 学びの本質をとらえ、実践する教職員
- ◇ 一致協力して推進する教育活動
- ◇ 家庭や地域と連携した「開かれた学校」

## 取組の概要

### ① 確かな学力の向上に努める。

- ・コミュニケーション能力の向上を目指し、習得した知識や技能を活用・応用に努める。
- ・学びの本質をとらえ、学習意欲を高める授業形態の工夫に努める。
- ・基礎・基本の定着を目指した学習指導（個に応じた学習・学習形態）に努める。
- ・読書活動をより促進・充実させ、言語能力、表現力、及び豊かな感性の育成に努める。
- ・運動の楽しさを味わうことで、児童が進んで体力の向上に努める工夫を行う。
- ・電子黒板やコンピュータ等の教育機器を活用し、わかる授業づくりに努める。
- ・LD 等支援の必要な子どもの実態を掴み、ユニバーサルデザインを意識した教室環境に努める。

### ② 健康な心身の育成と温かい人間関係づくりに努める。

- ・児童アンケートなどを利用し、一人一人の心のケアに努める。
- ・道徳教育及び人権教育の充実 に努める。
- ・勤労や感動体験を重視した心の教育の充実 に努める。（ボランティア・環境・福祉）
- ・ぬかりのない生徒指導の充実 に努める。
- ・健康に関する意識や危機管理意識の高揚を図ると共に、保健・安全教育の充実 に努める。
- ・家庭や地域と連携し、基本的な生活習慣の確立を目指すと共に、食育の充実 や自分の健康保持に心がけようとする児童の育成に努める。

### ③ 学校力の向上を図るために教職員の資質や能力の向上に努める。

- ・若手、中堅教員の指導力向上やより効果的な校内研修を図るための研究体制充実 に努める。
- ・複数教科の校内授業研究を進め、教科を横断した授業改善に努める。
- ・新学習指導要領の趣旨や内容の把握と、30年度の先行実施を見据えた教育課程の編成と実践 に努める。
- ・学校全体の組織的な取組を機能させ、児童の主体的な教育活動の推進に努める。
- ・中学校ブロックで学校評価の工夫・改善に努める。
- ・教育機器の活用能力の向上に努める。

### ④ 「開かれた学校づくり」に努め、家庭・地域との連携を深める。

- ・保護者とのつながりを大切にし、共に協力して児童の育成に努める。
- ・多様な機会、方法、学校教育の取組を説明するように努める。
- ・地域の諸団体や人材を活用し、関係諸機関と連携しながら、教育活動の推進や児童の安全確保に努める。
- ・保、幼、小、中との連携・交流に努める。
- ・学校運営協議会と連携を図りながら、よい方向を追求するよう努める。

### ⑤ 教育環境の整備を推進する。

- ・施設設備の点検、充実 に努める。
- ・新学習指導要領の実施に向けた教育環境整備を計画的に行う。
- ・毎月の安全点検を励行し、未然に事故を防ぐ。